



札幌教生第 8280 号

令和元年(2019年)12月17日

札幌市PTA協議会

会長 土田 修 様

札幌市教育委員会

教育長 長谷川 雅英



令和2年度「札幌市文教施策に関する要望書」への回答について

師走の候、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から本市の教育行政に格別の御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび令和元年10月25日付けで御提出いただきました標記の要望書につきまして、別紙のとおり回答いたします。

札幌市PTA協議会

令和2年度「札幌市文教施策に関する要望書」に対する回答書

：所管課

要望内容	回 答
(1)学校教育に関して	
【教職員及び少人数学級に関して】	
<p>学習面・生活面でのより細やかな指導を求めるために、小学4年生まで35人学級を拡大することを希望いたします。</p> <p>また、小学校における専科教員の導入を希望いたします。</p>	<p>一人ひとりの子どもに応じた指導の更なる充実に向け、今後、新たに小学校3・4年生における35人学級の実施について検討してまいります。</p> <p>教育委員会においては、平成28年3月に「小学校専科指導の手引」を配布し、校内体制による専科指導の一層の充実を図っております。</p> <p>また、小学校専科指導に係る加配定数の増員については、今後も様々な機会を通じて、国に要望してまいります。</p> <p>【参考情報】 小学校専科指導（英語以外）に係る加配定数の推移 H29年度：9人 H30年度：14人 R01年度：17人 R02年度：52人を要望中</p> <p style="text-align: right;">教職員課</p>
【英語教育に関して】	
<p>授業としての英語に対する的確な指導を行うべく、小学校に各校1名以上の専科教員の配置を希望いたします。</p> <p>また、ALTを含む外部人材の増員を希望いたします。</p>	<p>英語教育を通じて、児童にコミュニケーション能力が身に付くよう、今年度は専科教員を増加し、積極的に活用してまいりました。今後も、専科教員に係る加配定数の増員については、様々な機会を通じて、国に要望し、英語教育の充実を図ってまいります。</p> <p>また、ALTについては、本市の子どもたちが、ネイティブ・スピーカーの「生きた英語」に触れる機会をより多くもつことができるよう、計画的にALTを増員してきたところです。今後も、ALT等の人材を積極的に活用するとともに、ALTの増員について引き続き検討してまいります。</p> <p>【参考情報】 小学校英語専科指導に係る加配定数の推移 H30年度：9人が25校で巡回指導 R01年度：25人が60校で巡回指導 R02年度：50人を要望中</p> <p style="text-align: right;">教育課程担当課、教職員課、研修担当課</p>

【特別支援に関して】	
<p>相談・支援を必要とする保護者の対応窓口がわかりにくいため、情報の明確化を希望いたします。</p>	<p>札幌市教育センター教育相談室では、毎年、年度当初に市立の園や小・中学校、中等教育学校、高等学校等に対して、教育相談事業の内容や利用方法についてのリーフレットを配布し、教職員や家庭に対して広く周知するよう取り組んでいるところです。</p> <p>また、市民便利帳などに相談窓口について掲載するほか、教育センターのWebページにおいても教育相談室の概要を紹介しており、教育相談のリーフレットをダウンロードすることも可能です。</p> <p>今後も、様々な機会を通じ、相談・支援の窓口について広く周知を図るよう努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育相談担当課</p>
【スクールカウンセラーに関して】	
<p>相談を希望しても利用できない現状を踏まえ、スクールカウンセラーの配置時間の更なる増加を希望いたします。また、小・中で同じカウンセラーが担当するなど、運用の工夫を希望いたします。</p>	<p>スクールカウンセラーへの相談が年々増加している状況を踏まえ、今後、小中学校の連携を一層進め、より柔軟な対応が可能となるよう、スクールカウンセラーの配置や相談体制の改善について検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">児童生徒担当課</p>
【学びのサポーター・相談支援パートナーに関して】	
<p>助けを必要としている児童生徒に確実な支援が行き届くよう派遣時間の増加を希望いたします。</p> <p>また、小学校への相談支援パートナーの増員・配置を希望いたします。</p>	<p>(学びのサポーターに関して)</p> <p>学びのサポーターについては、1校あたりの年間活用時間数を段階的に拡充してきた他、市立高校への配置拡大、肢体不自由のある児童生徒への身体介助を専門に行う介助アシスタントの配置など、制度の充実に努めてきました。</p> <p>今後も、各学校において効果的な配置ができるよう運用を進めてまいります。</p> <p>(相談支援パートナーに関して)</p> <p>中学校に配置している相談支援パートナーについては、年度途中で各学校の活用時間の見込み等を調査して時数調整を図り、有効活用できるように取り組んでおります。</p> <p>また、小学生の不登校児童が増加傾向にあることから、10校に配置している「相談支援リーダー」に加え、今年度2学期から、新たにモデル校20校に「相談支援パートナー」を配置しております。小学校段階から早期の不登校支援を行うことは、中学校における不登校対策にも効果が期待されますので、小学校の相談支援パートナーの配置について、効果等を検証しているところです。</p> <p style="text-align: right;">学びの支援担当課、教育相談担当課</p>

【教科書・教材に関して】	
<p>児童生徒の携行品に係る配慮について、依然として問題解決にはなっていないので、学校判断ではなく具体的なガイドラインの作成を希望いたします。</p>	<p>教育委員会としましては、児童生徒の学びを充実させるために、学校においても、家庭においても、学習用具等が手元にあることは大変重要と考えておりますが、学習用具等の持ち運びが児童生徒に過重な負担とならないよう、発達の段階に応じて配慮することが必要と考えております。</p> <p>学習用具等の持ち運びについては、学校によって状況が異なることから、市全体として一律の対応とはしておりませんが、各学校がそれぞれの実情に応じて、負担軽減の取組を進められるよう、教育委員会として取組の工夫例を示し、各学校に配慮を促しているところです。また、特に健康面での不安など、個別の相談には丁寧に対応することを学校と確認しているところです。</p> <p style="text-align: right;">教育課程担当課</p>
【学校図書に関して】	
<p>低年齢からの読書習慣の定着化を図るため、小学校についても全校に専任司書の配置を希望いたします。</p>	<p>児童生徒の主体的、意欲的な読書活動推進に向けて、低年齢からの読書習慣の定着化については、その重要性を認識しているところです。</p> <p>学校図書館司書を全校に配置した中学校とともに、小学校においても学校図書館地域開放事業を含めて、学校図書館運営のよりよい在り方について検討を進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育課程担当課</p>
【スキー学習・校外学習に関して】	
<p>スキー学習を取り巻く環境の変化に伴い、スキー学習の在り方についての再検討を希望いたします。</p>	<p>国が定めた学習指導要領においては、スキー等の自然との関わりの深い活動について、学校や地域の実態に応じて積極的に行うことと記されており、本市においては、生涯にわたって運動を楽しみ、たくましく成長していくようスキー学習等を位置付けています。</p> <p>今年度改訂しました札幌市教育振興基本計画において、札幌の自然環境等を生かす取組の推進を基本施策に位置づけていることから、スキー学習を含めた札幌のよさを実感する冬期間の取組について、引き続き検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">教育課程担当課</p>
【部活動に関して】	
<p>部活動の指導の充実と顧問の負担軽減のためにも、外部人材の更なる活用を希望いたします。</p>	<p>部活動の指導の充実に向けて、教職経験者や地域の人材等を外部人材として活用しています。部活動の維持や顧問教諭の負担軽減に有効であることから、今後も外部人材の活用を積極的に進めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">児童生徒担当課、教職員課</p>

【いじめ・不登校問題に関して】

不登校児童・生徒の学習支援について、一層の充実を希望いたします。

不登校児童生徒の支援については、全中学校に相談支援パートナーを配置し、登校しても教室に入れない子どもたちに対して、学習支援等に取り組んでおります。

また、市内6か所に教育支援センター及び相談指導教室を設置し、仲間と共に活動や学習に取り組むプログラムを実施しながら、不登校状況の改善や社会的自立に向けた活動等を実施しております。今後も、各施設における学習支援や体験活動の充実に努めてまいります。

教育相談担当課

【幼稚園に関して】

幼保無償化に伴い、教育時間だけでなく預かり保育の質を保証するためにも、勤務体制の整備や、新規職員の採用を希望いたします。

預かり保育専任職員の確保に努めるとともに、幼稚園教諭と預かり保育専任職員が連携を取りながら預かり保育の充実に努めてまいります。料金設定については、幼児教育・保育の無償化による預かり保育利用者の推移と預かり保育を推進するための事業費を鑑み、慎重に検討していきます。

正規職員の採用再開については、市立幼稚園の今後の在り方に関する方針を策定するなかで、併せて検討します。

幼児教育センター

(2) 予算に関して

【教育関連予算に関して】

教育活動が円滑に行われ、「にーごープロジェクト」の様に札幌市独自の施策が行われるためにも、関連予算の維持・増額を希望いたします。

本市の厳しい財政状況を踏まえ、令和2年度予算においては、事務的経費の削減が見込まれています。

そのような中、教育委員会としても、これまで以上に充実した教育環境の実現を目指し、今後とも必要な予算の確保のため、関係機関に働きかけていきます。

その際には、貴協議会や教育現場等からのご意見を反映させたいと考えておりますので、今後ともご理解とご協力をお願いします。

総務課

【読書活動推進事業に関して】

児童生徒に豊かな読書環境を提
供するため、図書購入費の増額など
読書活動推進事業に係る予算の維持・増額を希望いたします。

依然として厳しい財政状況ではありますが、子ども
たちの読書活動を活発なものとするよう、今後も必
要な予算の確保に努め、学校図書館の蔵書充実を図っ
てまいります。

また、学校図書館地域開放事業において、PTA
を中心に地域の皆様に学校図書館運営に携わって
いただきながら児童生徒の読書環境の充実に取り組ん
でおります。事業の継続、実施校の拡大のため、札
幌市まちづくり戦略ビジョン・アクションプラン
2019（案）に事業を掲載し、必要な予算の維持、確
保に努めております。

学校施設課、生涯学習推進課

【PTA活動に関して】

現状の基盤維持及び強化のため、
今年度と同様の助成を希望いたし
ます。

厳しい財政状況のもと、団体補助金については全
庁的に廃止、終了年度の設定などの見直しが求めら
れているところです。

一方、貴協議会が行う学校・家庭・地域等との連
携による諸事業は、本市の家庭教育・社会教育の振
興に大きく寄与するものと認識しております。今後
も、これらの事業に対する支援を継続できるよう関
係機関に働きかけてまいります。

生涯学習推進課